リカレントプログラム



講師：　後藤　智行氏

精神保健福祉士　公認心理師　社会福祉士
アンティシペーションダイアローグ認定ファシリテーター
株式会社 TSUMUGOE　代表（コンサルタント、研修講師業）
精神科病院、精神科クリニックで２６年勤務。
精神科クリニックでは、リワークプログラムを立ち上げ運営し、その後発達障害専門のデイケア、児童思春期のデイケアを立ち上げ運営。
ダイアローグは、Tom Arnkil 氏に師事し、フィンランドに複数回渡航し様々な知見などに触れ、スーパーバイズを受けている。
現在は、日本各地で講演やワークショップを行いながら、こども園で５歳児とのダイアローグを通年で行っている。

フィンランドのダイアローグからのヒント

～声を大切にする～

～講師からのメッセージ～

フィンランドのダイアローグの日本での代表格は、精神科医療で行われているオープンダイアローグです。それはとても画期的な試みであり、様々な示唆に富んでいるものです。病気でつらい時にフィンランドの人々は、どうして薬ではなく、ダイアローグを選択できるのでしょうか。それは、ダイアローグへの信頼がしっかりと意識の中にあるからだと思われます。

今回は、ダイアローグ的な関わりとは何かの基本的な部分、「声を大切にしてもらうこと」「声を発するために何が必要か」を考えてもらいます。様々な視点、ワークの体験、講師の実践からなどを通してお伝えできればと思います。

日時　2027 年 2 月 27 日（土）9：30～16：30

場所　大妻女子大学　G 棟 311A アクティブラウンジ

【申し込み方法】１月２５日までに参加申し込みフォームに必要事項をご記入の上、お申込みください。

【申し込み先】
https://forms.gle/tmzLJNgqMuGKPRWF

大妻女子大学家政学部　児童臨床研究センター
TEL　０３－５２７５－６１２９
E-mail　jirinken@ml.otsuma.ac.jp